

巨摩・若江北遺跡

現地説明会

財団法人 大阪文化財センター

1994.6.18

はじめに

巨摩・若江北遺跡の発掘調査は、大阪府の主要幹線道路である中央環状線巨摩交差点の高架道路建設に先立って行なっているものです。

巨摩遺跡・若江北遺跡は、昭和9年の楠根川の改修工事によって、近くにある瓜生堂遺跡などとともに発見されました。この周辺は近畿自動車道建設などのときに、何度も発掘調査が行なわれてきました。これまでに総数60基を越える弥生時代中期（約2000年前）から後期（約1900年前）にかけての方形周溝墓と呼ばれるお墓が発見されています。このようなお墓は近畿・東海地方を中心に日本の各地でみられることがわかっていますが、とくに瓜生堂遺跡や巨摩遺跡では、非常に残りの良い状態で発見されたことで有名です。これは、河内平野に当時まだ河内潟と呼ばれる大きな干潟があり、そこに流れ込む多数の川が洪水などを起こすたびに、流れてきた大量の土砂によってお墓が地中深く埋もれてしまったためです。若江北遺跡をはじめとする周囲の集落（ムラ）も同じようにパッキされて埋もれており、当時の人々の生活を知る上で非常に大切な情報を私たちに与えてくれます。

調査の成果

今回紹介します巨摩遺跡では、弥生時代中期の方形周溝墓が4基、後期の方形周溝墓が1基みつっています。

弥生時代中期の方形周溝墓は調査区の北側で3基、南側で後期のお墓に削られた形で1基みつっています。このうち、10号墓と名付けた方形周溝墓は古墳時代前期（約1700年前）にあった川によって盛土が削り取られてしまい、お墓の中の木棺が3基現われています。この木棺は3基とも同じ方向を向いており、大きさも全長約70cm・幅30cmとほぼ同じです。この大きさから子供を葬ったものと思われる。この時代では普通、木棺に埋葬されるのは大人であり、子供のために木棺を使うのは珍しいことです。

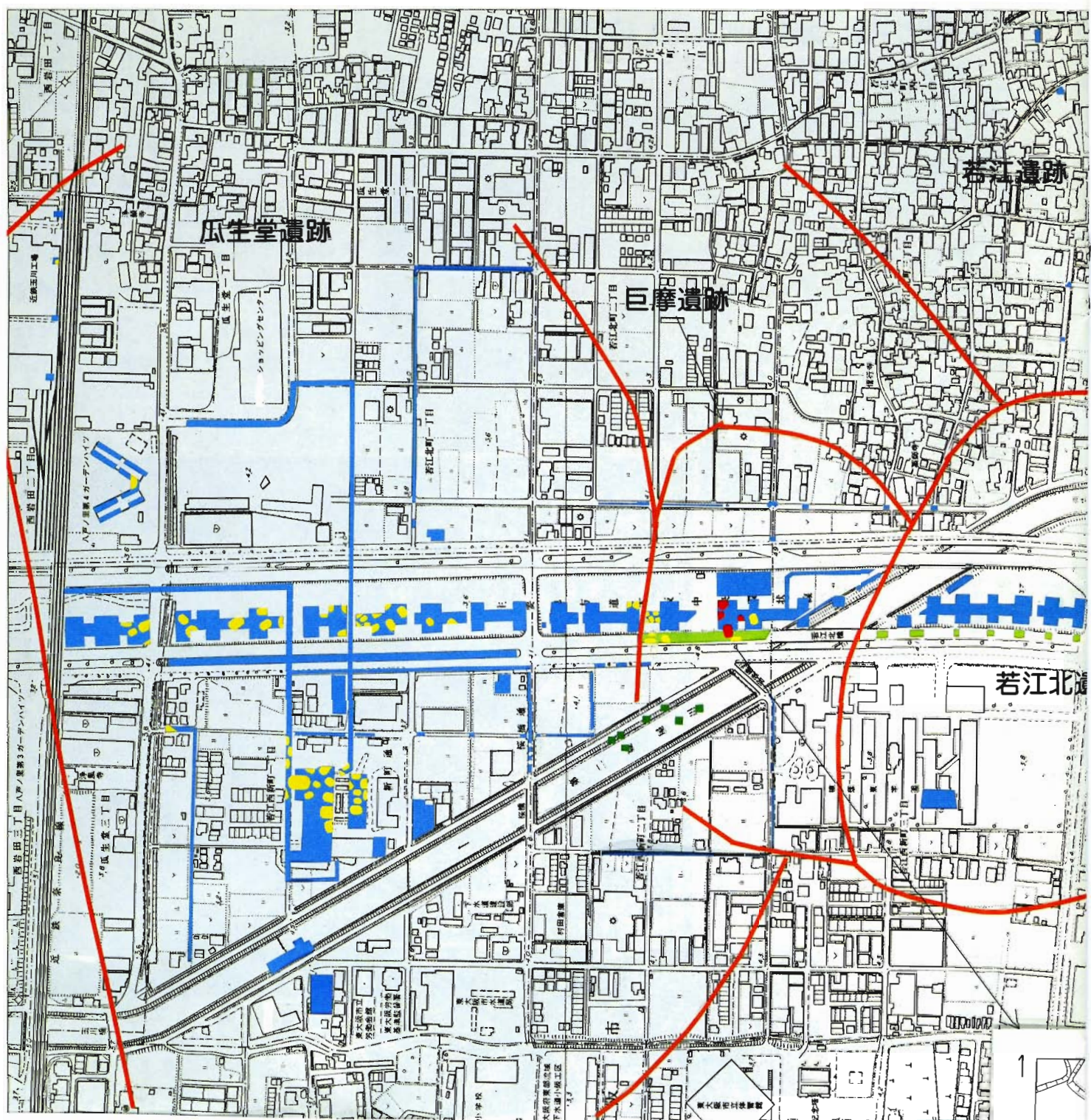
弥生時代後期の方形周溝墓は調査区の南側に位置し、西隣にある近畿自動車道の建設にともなう発掘調査を行なった時に、その東側半分が調査されたものです。今回の調査によって一辺の長さ約15m、墳丘の高さが溝の底から約1.5mと、ほぼ全形が明らかになりました。

盛土の中からは子供を葬ったと思われる土器棺が2基、大人を葬ったと思われる木棺が4基みつかりました。これまでの調査と合わせると、このお墓には8人のひとが埋葬されていたと考えられます。これらの木棺の上には人の頭ほどの大きさの石が置かれており、現在の墓石のようなものと思われます。この時代のお墓に、このような石を置くことは珍しいことです。土器を使った棺もこれまでの調査ではみつかっていません。

また、これらのお墓の周りの溝からは、亡くなった人に対するお祭りに使った穴の開いた土器がみつっています。

これらの方周溝墓が土砂で埋ってしまった後は、古墳時代前期の水田の跡やその当時の人々の足跡などがみつっています。また、若江北遺跡では弥生時代中期の溝・ゴミ穴・柱穴・足跡や古墳時代前期の水田、平安時代（約1000年前）の溝や室町時代（約500年前）の堀などがみつっています。

このように、発掘調査において地下深くでみつけられた生活の跡は、2000年もの昔から現在にいたるまで、この周辺に集落を作り、また亡くなった人々を葬り、力強く生きてきた人達がいたことを物語っています。



上の拡大図

今回と前回の方形周溝墓の場所

○印は弥生時代後期のもの

縮尺 = 1/600



周辺の遺跡と

これまで調査された場所

水色：これまでの調査場所

草色：今回の調査場所

黄色：弥生時代中期の

方形周溝墓

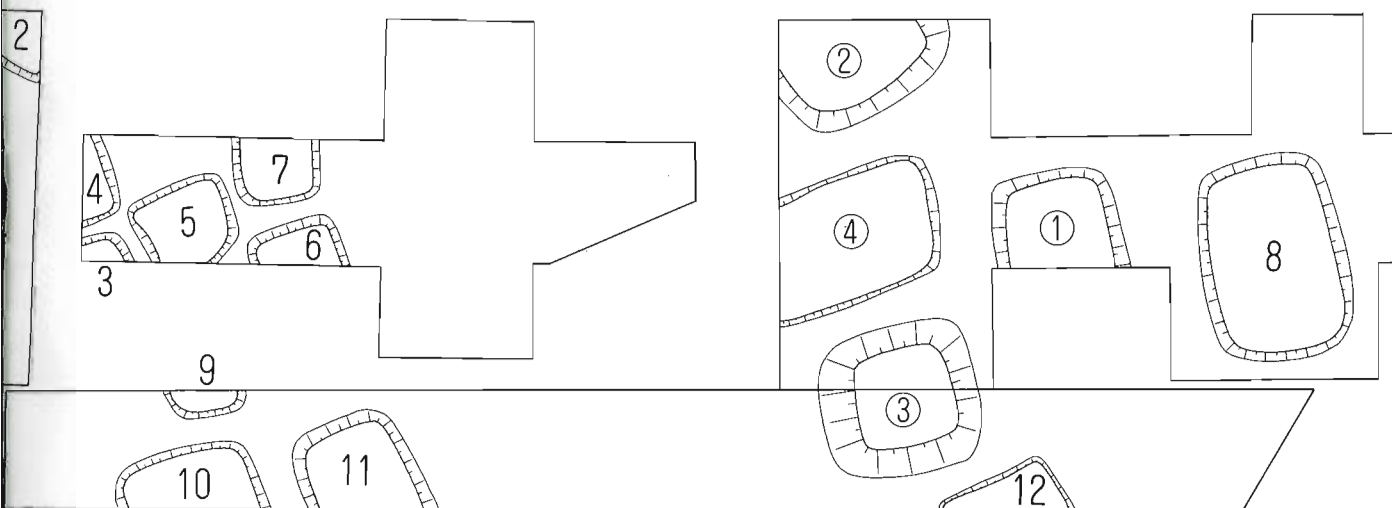
赤色：弥生時代後期の

方形周溝墓

緑色：工事中に棺が

見つかった場所

縮尺 = 1/5000



弥生時代後期（約1,900年前）の方形周溝墓



▲ 3号周溝墓：以前の近畿自動車道建設の時に調査された東側の半分です。（東からみる）



▲ 3号周溝墓：今回の調査により明らかになった西側半分です。高さが溝の底から約1.5mあり、また、お墓の上には墓標と考えられる石が置かれていました。

3号周溝墓

お墓の上からは、大人を葬った木棺4基の▶
ほか、子供を葬った土器を使った棺が2基
見つかりました。

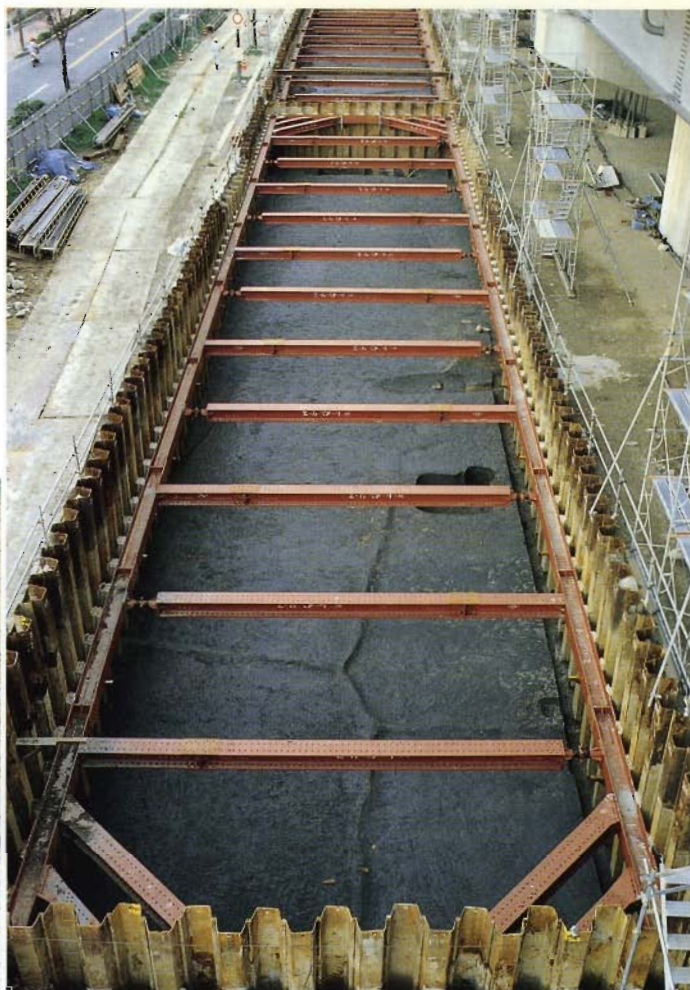
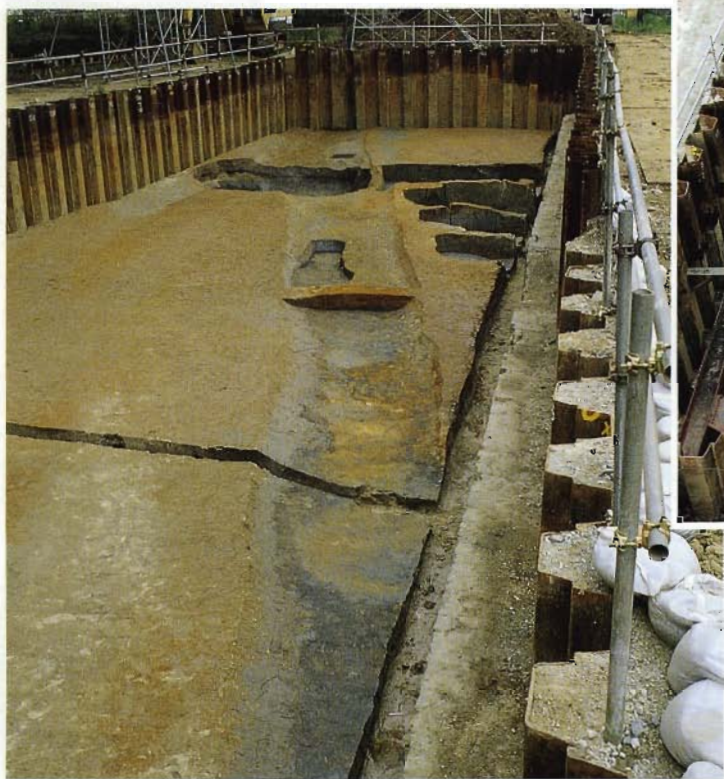


お墓には溝がめぐらされ、底からお祭りに▶
使ったと思われる土器が見つかりました。

弥生時代以後の風景

古墳時代（約1,700年前）：弥生時代のお墓が埋まった後、水田がひろがりました。▶

平安時代（約1,000年前）：南北方向の溝から、
えんぎつうほう延喜通寶というお金や土馬（土製ミニチュアの馬）が
どば見つかりました。何かのお祭りをしていたようです。



室町時代（約500年前）：調査地点の東方向に若江城がありました。それに関連した堀でしょうか。▶